

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR・広報グループ長 (氏名) 館山 雄一

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	72,727	△13.5	1,085	-	352	-	384	-
28年3月期第2四半期	84,076	△1.0	△589	-	△1,435	-	△1,763	-

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △841百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 △1,545百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.25	-
28年3月期第2四半期	△5.72	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	112,608	24,882	21.8
28年3月期	123,069	25,724	20.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 24,521百万円 28年3月期 25,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 平成29年3月期の配当予想額については未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△11.6	2,500	163.2	1,000	-	600	-	1.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	308,268,611株	28年3月期	308,268,611株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	133,893株	28年3月期	132,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	308,134,997株	28年3月期2Q	308,140,983株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成28年5月11日に公表した平成29年3月期通期連結業績予想につきましては、平成28年11月2日付の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異および平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました内容を記載しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は緩やかな持ち直しが見られましたが、円高の進行や海外経済の不確実性の高まりにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

電線業界におきましては、自動車向けは堅調に推移しましたが、建設・電販向け等を中心に電線全体の需要は減少傾向で推移しました。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は727億27百万円（前年同四半期対比13.5%減）となりました。損益面では、営業利益は10億85百万円（前年同四半期は5億89百万円の営業損失）、経常利益は3億52百万円（前年同四半期は14億35百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億84百万円（前年同四半期は17億63百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分をそれぞれ変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

#### （電線線材事業）

固定費削減等による改善はありましたが、国内建設・電販向け需要が減少し国内銅価格も下落したことから、売上高は325億20百万円（前年同四半期対比18.5%減）、営業利益は4億66百万円（前年同四半期対比2.8%減）となりました。

#### （電力システム事業）

輸出向けは低調でしたが、国内向け需要が底堅く推移し、前年度に実施した子会社統合等の効果もあり、売上高は109億33百万円（前年同四半期対比2.6%増）、営業利益は1億69百万円（前年同四半期は7億22百万円の営業損失）となりました。

#### （巻線事業）

中国現地法人では厳しい状況が継続しているものの改善傾向にあり、国内需要が下支えしたことから、売上高は97億88百万円（前年同四半期対比12.7%減）、営業利益は61百万円（前年同四半期は71百万円の営業損失）となりました。

#### （コミュニケーションシステム事業）

国内の通信ケーブル需要は低調だったものの、固定費削減等の影響により、売上高は94億10百万円（前年同四半期対比6.2%減）、営業利益は2億37百万円（前年同四半期は62百万円の営業損失）となりました。

#### （デバイス事業）

複写機用ローラ等の精密デバイスは低調でしたが、建築用免震装置やワイヤハーネスが固定費削減等により改善したことから、売上高は91億92百万円（前年同四半期対比17.6%減）、営業利益は3億41百万円（前年同四半期は89百万円の営業損失）となりました。

#### （その他）

売上高は8億82百万円（前年同四半期対比21.1%減）、営業損失は1億90百万円（前年同四半期は2億29百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,126億8百万円（前連結会計年度末総資産1,230億69百万円）で、主に受取手形及び売掛金が減少したため、前連結会計年度末より104億60百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は877億25百万円（前連結会計年度末負債合計973億44百万円）で、主に支払手形及び買掛金および長期借入金が減少したため、前連結会計年度末より96億19百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は248億82百万円（前連結会計年度末純資産257億24百万円）で、前連結会計年度末より8億41百万円減少しております。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、国内銅価格が下落した影響等により売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。損益面では当第2四半期連結累計期間において前回予想を上回りましたが、国内建設・電販向け需要の回復が遅れており、また国内銅価格が想定より低位で推移した影響等を考慮し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前回予想を据え置くことにいたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年11月2日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異および平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	166,000	2,500	1,000	600
今回修正予想(B)	150,000	2,500	1,000	600
増減額(B-A)	△16,000	—	—	—
増減率(%)	△9.6	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	169,712	949	△1,461	△9,151

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,410	4,546
受取手形及び売掛金	42,345	37,799
商品及び製品	9,424	8,219
仕掛品	7,454	6,813
原材料及び貯蔵品	4,217	3,839
その他	4,021	3,496
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	73,856	64,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,005	7,804
機械装置及び運搬具(純額)	5,118	5,175
土地	23,702	23,603
その他(純額)	2,235	2,458
有形固定資産合計	39,061	39,042
無形固定資産	1,837	1,666
投資その他の資産		
投資有価証券	6,759	5,523
退職給付に係る資産	398	660
その他	1,306	1,169
貸倒引当金	△150	△152
投資その他の資産合計	8,313	7,201
固定資産合計	49,212	47,911
資産合計	123,069	112,608
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,260	17,631
短期借入金	40,261	38,755
未払法人税等	283	268
工事損失引当金	161	136
事業構造改善引当金	13	10
その他	12,417	11,554
流動負債合計	74,398	68,356
固定負債		
長期借入金	15,388	12,169
役員退職慰労引当金	102	107
退職給付に係る負債	565	573
その他	6,890	6,519
固定負債合計	22,946	19,368
負債合計	97,344	87,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	5,536	5,536
利益剰余金	△9,168	△8,784
自己株式	△15	△15
株主資本合計	20,574	20,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	438
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	5,543	5,543
為替換算調整勘定	2,173	905
退職給付に係る調整累計額	△3,485	△3,324
その他の包括利益累計額合計	4,796	3,563
非支配株主持分	353	361
純資産合計	25,724	24,882
負債純資産合計	123,069	112,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	84,076	72,727
売上原価	76,289	63,684
売上総利益	7,787	9,042
販売費及び一般管理費	8,376	7,956
営業利益又は営業損失(△)	△589	1,085
営業外収益		
受取利息	35	19
受取配当金	39	34
その他	73	118
営業外収益合計	147	172
営業外費用		
支払利息	489	433
持分法による投資損失	118	33
為替差損	80	168
その他	304	270
営業外費用合計	993	906
経常利益又は経常損失(△)	△1,435	352
特別利益		
投資有価証券売却益	11	257
国庫補助金	70	—
持分変動利益	30	—
その他	—	46
特別利益合計	112	304
特別損失		
減損損失	166	—
その他	1	—
特別損失合計	167	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,491	656
法人税等	275	256
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,767	399
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,763	384



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,767	399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	△128
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	93	△621
退職給付に係る調整額	157	161
持分法適用会社に対する持分相当額	80	△653
その他の包括利益合計	221	△1,240
四半期包括利益	△1,545	△841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,541	△849
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,491	656
減価償却費	1,829	1,435
減損損失	166	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△257
固定資産廃棄損	18	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	2
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△137	△25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	7
受取利息及び受取配当金	△74	△54
支払利息	489	433
売上債権の増減額(△は増加)	3,248	4,546
たな卸資産の増減額(△は増加)	△694	2,222
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,248	△3,719
その他の流動資産の増減額(△は増加)	225	246
その他の流動負債の増減額(△は減少)	105	△522
その他	△626	△406
小計	1,812	4,581
利息及び配当金の受取額	74	59
利息の支払額	△498	△438
事業構造改善費用の支払額	△7	△2
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△318	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062	4,105
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	17	515
有形固定資産の取得による支出	△1,896	△1,471
有形固定資産の売却による収入	24	163
関係会社出資金の払込による支出	△438	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△69	△1
その他	△197	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,566	△786
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,066	379
長期借入れによる収入	1,800	500
長期借入金の返済による支出	△4,722	△4,979
その他	△318	△467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174	△4,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△616
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,573	△1,863
現金及び現金同等物の期首残高	7,968	6,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,394	4,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,908	10,659	11,207	10,032	11,151	1,117	84,076	—	84,076
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,576	65	584	441	131	4,937	16,737	△16,737	—
計	50,485	10,725	11,791	10,473	11,282	6,055	100,813	△16,737	84,076
セグメント利益 又は損失(△)	480	△722	△71	△62	△89	△229	△695	105	△589

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額105百万円には、未実現利益の調整額85百万円などを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	32,520	10,933	9,788	9,410	9,192	882	72,727	—	72,727
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,226	37	771	307	6	4,761	12,110	△12,110	—
計	38,747	10,970	10,560	9,718	9,198	5,643	84,838	△12,110	72,727
セグメント利益 又は損失(△)	466	169	61	237	341	△190	1,086	△0	1,085

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△0百万円には、未実現利益の調整額15百万円などを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「電線線材事業」および「デバイス事業」において、固定資産の減損損失をしております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「電線線材事業」で87百万円、「デバイス事業」で79百万円であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の連結子会社であった(株)エクシムを平成27年10月1日付で昭和電線ケーブルシステム(株)が吸収合併したことに伴い、従来、「電力システム事業」に含めていた配電機器、母線、架空送電線を、前第3四半期連結累計期間より「電線線材事業」に含めております。

また、品種管理体制の見直しにより、「電線線材事業」に含めていた一部の電力用ケーブルを当第1四半期連結累計期間より「電力システム事業」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」については、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

b. 関連情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
73,673	10,214	188	84,076

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
65,055	7,536	136	72,727

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。